



# 西野正人

## ハッキリ言います! 市政にひとこと!

連絡先/〒191-0011 日野市日野本町6-9-1 TEL 042-582-4381/FAX 042-582-2866  
HP: <http://www.nishino1.com/> E-mail: [nishino@eco.ocn.ne.jp](mailto:nishino@eco.ocn.ne.jp)



## ■「たきび」で知られる異聖歌氏の故郷 岩手県紫波町との姉妹都市提携



たきび祭りでの様子  
於：旭が丘中央公園

新しい年を迎え皆様に於かれましてはいかにお過ごしでしょうか。

昨年3月に市議会議員に就任して4回目の平成28年第4回定例会(12月議会)も各議員と市長はじめ理事者のご協力により無事円滑に閉会することができました。今議会においては、平成28年度日野市一般会計補正予算(裏面参照)をはじめ、日野市と岩手県紫波町との姉妹都市提携、日野市立カワセミハウス条例の制定、人権擁護委員の推薦等、多くの議案が審議されました。いくつかの議案においては反対した議員もおりましたが全ての議案が賛成多数により可決されました。

さて、岩手県紫波町との姉妹都市提携は今年1月30日に行われます。提携に至った経緯を簡略に紹介します。異聖歌さんは友人の勧めで昭和23年に日野市旭が丘に移住し、昭和48年68歳でお亡くなりになるまで在住しました。その後、お住まいが取り壊されることがきっかけで、地元の皆さんが異聖歌さんの業績をいつまでも語り継いで行くため「たきび会」を作りました。以来、地元の旭が丘商工連合会が主催となり毎年行われる「たきび祭」をきっかけにして市民レベルの交流が始まり、行政間の交流に発展しました。そして、今回の姉妹都市提携となりました。異聖歌さんは日野市立第4小学校・日野市立七生中学校の校歌などを作詞し、童謡の「たきび」は、JR豊田駅の電車発車時のメロディーにも使用されています。最後になりましたが、皆様にとって今年が輝かしい年になることを祈念いたします。



## 大坪冬彦市長 記者会見で二期目に向け出馬を表明!

**表明要約**

今から4年前の平成25年4月に第6代の日野市長に就任して以来、人口減少に伴う高齢化のピークといわれる2025年、2040年を見据えて、諸力融合による地域コミュニティの活性化、企業・大学・NPOなど様々な方々との連携協力のもと地域の課題解決のために努力してまいりました。また、歩きたくなるまちづくりやデータヘルスの推進、様々な健康講座の開設など、健康長寿のまちづくりを進め、地域包括ケアの実現を目指してまいりました。また、「広報ひの」を刷新し、シティセールス・シティプロモーションを推進し、都市観光業にも力を入れ、日野市に眠っている宝を掘り起こし、日野市の価値を高めてまいりました。そして、

新しい可燃ゴミ施設の建設における小金井市・国分寺市との共同化についても、昨年一部事務組合である浅川清流環境組合を設立し、平成32年度稼働に向けての道筋を付けました。このような4年間の自治体運営について、多くの方から高い評価を頂き、引き続き次の任期もやるべきだと、多くの声が私の背中を押してくださり、立候補の決意を固めました。

4年間というのは時間も非常に短く、多くのやり残しがあります。また課題を提示しただけに終わっていることもたくさんあるのが現状です。人とまちの高齢化というものはどうしても避け難い現実であります。現在、日野市が策定している公共施設等総合管理計画では、今後は日野市が持っている公共施設の総面積の16%を削減しなければ存続が難しいという数字も出ています。市内・人の高齢化も進んでいますけれども、高齢化にも地域差があります。とりわけ南北格差が顕著かなというふうに思います。そして2020年オリンピック・パラリンピックが開催されます。それに向けての準備もこれからです。また、オリンピック・パラリンピック後のレガシーをどのように将来の発展に結びつけるのかもこれからです。このような課題に取り組みながら、次の四年間、日野市の価値を高めるために住んでみたいまち、訪れてみたいまちを目指して全力をあげて取り組んでいきたいと思っています。

## ■第二期に向けての重点的な取り組み

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 子育て施策のさらなる推進      | 2 自然環境の保全の推進       |
| 3 子供の貧困対策の推進        | 4 諸力融合の取り組みのさらなる推進 |
| 5 ごみの処理の広域化とごみ減量の推進 | 6 浅川南側の拠点整備        |

記者の質問に応え  
政策を語る大坪市長

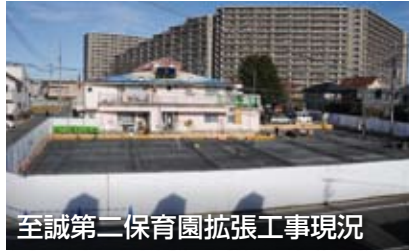




平成 28 年度  
一般会計

# 補正予算 17 億 5752.7 万円の一部を解説

## ■ 子育て支援の充実— 民間保育園施設への助成を予算化！— 4 億 4405.9 万円



子育て支援のため、民間保育園の増設をさらに進めました。多摩平の A 街区に (仮称) 栄光多摩平の森保育園、東町に現存している至誠第二保育園は隣接地に拡張します。

(仮称) 栄光多摩平の森保育園 2 億 6,139 万円  
至誠第二保育園 1 億 8,267.9 万円

## ■ 新可燃ごみ焼却施設周辺整備と北川原公園整備を予算化！— 2 億 3153 万円

新可燃ごみ処理施設建設に伴い、周辺環境整備として、クリーンセンター専用道路整備工事と根川橋梁整備工事を予算化し、同時に日野バイパス北側に整備予定の北川原公園の整備も行います。



周辺環境整備 9,084 万円  
北川原公園整備 1 億 4,069 万円

## ■ 国の予算を獲得— 七小・八小のトイレ改修工事を予算化！— 1 億 9428.9 万円



子供達の快適な学校生活を目指し、小田原潔衆議院議員と連携をとり、補助金が付かなかったこの事業に国の補正予算を獲得して、日野第七小学校・日野第八小学校のトイレ改修工事を予算化することができました。

日野第七小学校トイレ改修工事 8,842.4 万円  
日野第八小学校トイレ改修工事 1 億 586.5 万円

## ■ 東町防火水槽設置工事を予算化！— 1,150 万円

先般発生した新潟県糸魚川市の大規模火災では、いかに初期消火が大切か思い知らされました。消防車が通ることができる道路の整備と、消火栓や防火水槽など消火に必要な水の確保は不可欠です。今回の補正予算でも東町に防火水槽の設置を予算化しました。これで日野市内の防火水槽は 501 箇所となります。お住まいの近くにある消火栓・防火水槽をご確認されると良いかと思ます。

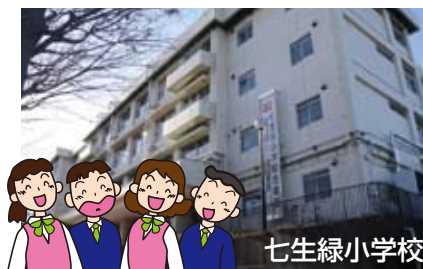


## ■ 新井地区センター入口のスロープ設置工事を予算化！— 311.1 万円



地域の方からのご要望をお受けしておりました、新井地区センターの入口のスロープの設置工事を予算化しました。これにより車椅子をご利用の方や、歩行器をお使いの方でも、段差を気にせず楽に出入りができるようになります。

## ■ 七生緑小学校合唱団ミニコンサート開催を予算化！— 102 万円



合唱で優秀な成績を修めている七生緑小学校の合唱団が、全国コンクール金賞を受賞し 4 連覇を達成しました。日野市でも合唱団の健闘をたたえるべく、ミニコンサートを開催することとしました。今回の補正予算ではその開催経費を予算化し、計上しました。